

科目名 (英)	パソコン (Computer)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	㈱ブレーンスタッフコンサルタンツ	
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜日2時限 / 水曜日1時限	
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】								
滋慶学園グループのコンピュータ関連企業に所属しており、複数の専門学校にて学生へのPC講義や教職員へのPC研修を実施している。								
<学習内容>								
・コンピュータネットワーク環境の適切な利用を学ぶ ・Wordで複合文書を作成する　・Excelの基本操作やデータベース、効果的なグラフの作成方法を学ぶ”　・メールマナーを学ぶ								
【到達目標】								
・新しいテクノロジーや情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく活用できる ・Wordを利用し、複合文書の作成ができる ・Excelを利用し、表計算や表、グラフの作成ができる ・マナーを理解し、メールを送信できる								
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】				
滋慶学園グループの学生に必要なスキルに特化した、 オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用				次回講義までに不明な操作をe-learning(インターネット上のテキスト)で確認しておく				
回	授業概要			回	授業概要			
	【授業単元】 CCT入門1 【授業形態】 演習 【到達目標】 講座を受講する意義を理解し、PCの基本操作ができる				【授業単元】 就職送付状作成、PDF変換 【授業形態】 演習 【到達目標】 就職活動の際に使用する送付状など、目的に合わせたビジネス文書を作成できる			
1	【授業単元】 CCT入門2 【授業形態】 演習 【到達目標】 新しいテクノロジーや情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく上手に活用できる			10	【授業単元】 CCT入門4 【授業形態】 演習 【到達目標】 Officeの基本操作ができる			
	【授業単元】 Word基礎1+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作成ができる				【授業単元】 Excel基礎1+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる			
2	【授業単元】 Word基礎2+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 画像や图形を駆使した文書を作成できる			12	【授業単元】 Excel基礎2+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 関数を駆使した資料を作成できる			
	【授業単元】 Word基礎3+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 表を駆使した文書を作成できる				【授業単元】 Excel基礎3+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 グラフを駆使した資料を作成できる			
3	【授業単元】 メールマナー 【授業形態】 演習 【到達目標】 受け取り手に好印象を与えるメールのマナーを知り、メール機能を使いこなすことができる			14	【授業単元】 Excel試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 Excel基礎で習ったことを実践できる			
	【授業単元】 Word試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 Word基礎で習ったことを実践できる				【授業単元】 Excel試験 【授業形態】 演習 【到達目標】 定期試験 Excel資料作成			
4	【評価方法について】 評価は実技試験で行い、 授業内で説明した機能の理解、操作の定着度を確認する。 中間試験(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。			15	【評価方法について】 評価は実技試験で行い、 授業内で説明した機能の理解、操作の定着度を確認する。 中間試験(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。			
	【特記事項】							

科目名 (英)	就職対策講座 I (Finding Employment Seminar I)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	横 美穂
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分	前期
学科・専攻	医療事務専科			曜日・時間	木曜日	4時間	
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】							
企業における人材育成にも携わり、専門学校や大学で長年にわたって就職指導をしてきた教員が、就職活動に必要なマナーと好感度の高い履歴書を作成するための授業を行う。後半は筆記試験対策とする。課題提出は必須であり、提出が遅れるごとに進めないので、提出期限厳守で授業に臨んでほしい。社会人になるという自覚と就職に対する強い意識をもって受講すること							
【到達目標】							
実習先に提出する履歴書を完成させる 自己分析を通して「何ができるのか」「何がしたいのか」を明確にし、就職活動に活かすことができる 就職活動に必要なマナーを身につける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント資料 就職活動マニュアル				授業単元に書かれていることが毎回の提出課題になるので、セールスポイントやエピソードなどを思い起こし、あらかじめ書き出しておくことが望ましい			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【授業単元】履歴書作成時の注意点 自己分析① 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 履歴書作成時の注意点が理解できる 実習先に提出する履歴書と就職先に提出する履歴書の違いが理解できる 自分の強み、弱み、価値観を明確にすることができる	9	【授業単元】SPI・一般常識対策 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 苦手分野を把握し、今後の対策を講じることができる				
2	【授業単元】自己分析② 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 セールスポイント→エピソード→活用法について、わかりやすい文章で伝えることができる	10	【授業単元】SPI・一般常識対策 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 苦手分野を把握し、今後の対策を講じることができる				
3	【授業単元】志望動機① 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 やりたい仕事→興味を持った理由→将来の抱負を明確にすることができる	11	【授業単元】SPI・一般常識対策 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 苦手分野を把握し、今後の対策を講じることができる				
4	【授業単元】志望動機② 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 やりたい仕事→興味を持った理由→将来の抱負を説得力のある言葉で伝えることができる	12	【授業単元】SPI・一般常識対策 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 苦手分野を把握し、今後の対策を講じることができる				
5	【授業単元】学生時代に力を注いだ事 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 力を注いできたことから何を学んだのか、それを仕事にどう活かしていくかを自己PRとダブらないようエピソードの種類を変えてアピールできる	13	【授業単元】時事問題・小論文 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 時事問題の情報収集法と勉強法を知る 評価される小論文の書き方のコツについて説明できる 時事問題をテーマに小論文が書ける				
6	【授業単元】身だしなみと立ち居振舞い 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 実習に行く際の態度、身だしなみ、立ち居振舞いを習得し、マナーの向上ができる	14	【授業単元】時事問題・小論文 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 時事問題をテーマに小論文が書ける				
7	【授業単元】ロールプレイング 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 実習初日を想定した動作(名乗って→担当者への取り次ぎ依頼をし→あいさつをする)が感じよくスムーズにできる	15	【授業単元】定期試験、解答解説 【授業形態】 【到達目標】				
8	【授業単元】中間試験、解答解説 【授業形態】 【到達目標】		【評価方法について】 評価は、小テスト(40点)と中間試験(30点)・定期試験(30点)の合計100点満点で行う 評価は学則規定に準ずる				
【特記事項】							

*授業回数が15回を超える場合は、Excelシートをコピーの上、16回目以上のシラバスを作成ください

科目名 (英)	疾病学 (Disease Studies)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	サラメ 美保子						
							前 期						
							木曜日 3限・2限						
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】													
看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対しての教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のために貢献してきた教員が、病気に合った診療科目を選択することができるよう、体の区分を理解し、極めて頻度の高い病気の主な原因、症状及び診療などについて講義形式で授業していく。まずは身近な病気を学び、普段使用しない医療用語(英語含む)に少しずつ慣れることを期待する。第9回～14回は、人の体と機能で学んだ各臓器や器官の主な病気の原因、症状を理解し、診療・検査・治療に関連づけることができるよう授業していく。													
【到達目標】													
<<第1回～8回>> 医療従事者として必要な病気に関する基礎的医療用語を理解でき、適切な診療科目と結び付けることができる。													
<<第9回～14回>> 各臓器における代表的な病気の症状、原因、検査と治療を理解し、ドクターカルテ及びナースカルテの内容を理解できるようになる。													
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】									
各授業毎に重要事項を記入するプリントを配布				各授業で配布したプリント及び小テストの復習 授業中紹介する映像サイトなどで視聴覚的に復習する									
回 授業概要				回 授業概要									
【授業単元】 病気とは…・体の区分と診療科目について 【授業形態】 講 義 【到達目標】 1 診療科目の区分を理解する				【授業単元】 脳と頭頸部の病気 ①脳と血管 【授業形態】 講 義 【到達目標】 9 脳の保護機能(膜と髄液)と結び付け、脳血管疾患の種類とその症状、原因、治療について理解する									
【授業単元】 貧血、高血圧、虚血性心疾患について 【授業形態】 講 義 【到達目標】 2 貧血の種類とそれぞれの特徴、高血圧の基準値、虚血性心疾患の発生機序を理解する				【授業単元】 脳と頭頸部の病気 ②脳と脊髄(神経) 【授業形態】 講 義 【到達目標】 10 神経系疾患の種類とその症状、原因、治療について理解する									
【授業単元】 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、糖尿病について 【授業形態】 講 義 【到達目標】 3 胃潰瘍と十二指腸潰瘍の症状の特徴、糖尿病の種類と症状を理解する				【授業単元】 脳と頭頸部の病気 ③脳と内分泌機能 【授業形態】 講 義 【到達目標】 11 内分泌機能とその異常症を結び付け、原因、症状、治療を理解する									
【授業単元】 気管支喘息、肺炎、慢性閉塞性肺疾患について 【授業形態】 講 義 【到達目標】 4 気管支喘息と肺炎の症状、慢性閉塞性肺疾患の概要を理解する				【授業単元】 心臓と血管の病気 ①心臓と血管 【授業形態】 講 義 【到達目標】 12 心臓の栄養血管の走行と虚血性心疾患の症状、原因、治療を結び付け理解できる									
【授業単元】 膀胱炎、ネフローゼ症候群、腎不全について 【授業形態】 講 義 【到達目標】 5 膀胱炎の症状、ネフローゼ症候群と腎不全の概要を理解する				【授業単元】 心臓と血管の病気 ②血液と循環 【授業形態】 講 義 【到達目標】 13 全身の血液循環と心不全の症状、原因、治療を結び付け理解できる									
【授業単元】 脳卒中、認知症について 【授業形態】 講 義 【到達目標】 6 脳卒中と認知症の概要を理解する				【授業単元】 呼吸器系の病気 【授業形態】 講 義 【到達目標】 14 肺の解剖生理と呼吸器系の病気の発生機序を結び付け、症状、原因、治療が理解できる									
【授業単元】 中耳炎・副鼻腔炎、近視・遠視、皮膚炎について 【授業形態】 講 義 【到達目標】 7 感覚器系(口・耳・鼻・眼・皮膚)の高頻度発生の病気について理解する				【授業単元】 定期試験(60点満点)、解答解説 【授業形態】 筆記試験 15									
【授業単元】 1～7の復習:医療秘書技能検定試験対策 【授業形態】 テスト演習 8				【評価について】 評価は小テストと定期試験で行う。・小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。・小テストは教室での受講者はペーパーテスト、オンライン受講者はteams上で行う。定期試験は全員筆記試験を行う。・小テストは、第1回～7回、9回～14回の授業の各回最後に行う。・評価は学則規定に準ずる。									
【特記事項】 授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリントに必ず重要事項を記入すること。													

科目名 (英)	人の体と機能 (Theory of Body Constitution and Functions)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	サラメ 美保子	
		授業形態	講義	総時間(単位)	30時間(2)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 3限・木曜日 1限	
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】								
看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対しての教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のために貢献してきた教員が、医療のスペシャリストとして必要な人体構造(解剖と生理学)の知識を習得できるよう授業していく。 総論を学び、6月の医療秘書技能検定に向けて全身を広く浅く学習していく。前期9~14回は体の機能別に全身をさらに深く学習していく。各臓器や各器官の役割や機能を理解し、疾病学で学ぶ内容と結び付けられることを期待する。単独で機能する身体のバーツではなく、全身と関連づけながら繰り返し出てくる内容も多いので安心して授業に臨んでほしい。								
【到達目標】								
<前期1~8回> 医学的基礎知識を得ることにより、医療従事者として必要な基礎的医療用語(人体構造・臓器の名称や機能など)を理解することができる。 <前期9~14回> 体の解剖生理学的知識を得ることにより、各臓器の主な病気の発症と結び付けることができ、医療秘書・医療事務として院内各診療科の医療用語などを理解することができる。								
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】				
ぜんぶわかる人体解剖図 坂井武雄 他著 成美堂出版 ※各授業毎に重要事項を記入するプリントを配布				各授業で配布したプリント及び小テストの復習 授業中紹介する映像サイトなどで視聴覚的に復習する				
回	授業概要	回	授業概要	回	授業概要	回	授業概要	
1	【授業単元】 全身の構造-骨格・内臓の位置 【授業形態】 講義 【到達目標】 全身の骨格・筋肉・臓器の位置を知り、体の構造の概要を理解する	9	【授業単元】 脳と頭頸部の構造・機能 ①脳と血管 【授業形態】 講義 【到達目標】 脳の構造としくみ、及び脳血管の重要性を理解する	10	【授業単元】 脳と頭頸部の構造・機能 ②脳と脊髄(神経) 【授業形態】 講義 【到達目標】 神経系の分類とその役割を理解する	11	【授業単元】 脳と頭頸部の構造・機能 ③脳と内分泌機能 【授業形態】 講義 【到達目標】 内分泌腺と各ホルモンを理解する	
2	【授業単元】 心臓の解剖生理とその機能、血管と血液成分 【授業形態】 講義 【到達目標】 循環器概要として、心臓の解剖と機能、血管の種類とその機能、及び血液成分とその主なはたらきを理解する	12	【授業単元】 心臓と血管の構造と機能 ①心臓と血管 【授業形態】 講義 【到達目標】 心臓の構造と拍動のしくみ、及び心臓の栄養血管を理解する					
3	【授業単元】 消化器系各臓器の解剖生理及び役割・機能 【授業形態】 講義 【到達目標】 消化器概要として、消化管の構成とその役割・機能を理解する							
4	【授業単元】 呼吸器の解剖生理、ガス(酸素と二酸化炭素)交換 【授業形態】 講義 【到達目標】 呼吸器概要として、呼吸経路の解剖生理とガス(酸素と二酸化炭素)交換を理解する	13	【授業単元】 心臓と血管の構造と機能 ②血液と循環 【授業形態】 講義 【到達目標】 全身の血液循環路、及び血圧とその基準値を理解する					
5	【授業単元】 腎臓を含む泌尿器・生殖器系の解剖生理と役割・機能 【授業形態】 講義 【到達目標】 泌尿器・生殖器系の概要として、それらの解剖生理と役割・機能を理解する	14	【授業単元】 呼吸器系の構造と機能 【授業形態】 講義 【到達目標】 気道と肺の構造・機能、及び呼吸のしくみを理解する					
6	【授業単元】 頭部の構造。脳と脊髄・神経、内分泌とホルモン 【授業形態】 講義 【到達目標】 頭部・脳の解剖生理と役割・機能を理解し、第1~5回講義内容である体の各機能と脳との関係を結び付けることができる	15	【授業単元】 定期試験 (60点満点)、解答解説 【授業形態】 筆記試験					
7	【授業単元】 感覚器系の解剖生理と役割・機能 【授業形態】 講義 【到達目標】 感覚器系(口・耳・鼻・眼・皮膚)の概要として、それぞれの役割・機能を理解する		【評価について】 評価は小テストと定期試験で行う。・小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。・小テストは教室での受講者はペーパーテスト、オンライン受講者はteams上で行う。定期試験は全員筆記試験を行う。・小テストは、第1回~7回、9回~14回の授業の各回最後に行う。・評価は学則規定に準ずる。					
8	【授業単元】 1~7の復習:医療秘書技能検定試験対策 【授業形態】 テスト演習							
【特記事項】 授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリントに必ず重要事項を記入すること。								

科目名 (英)	人の体と機能 (Theory of Body Constitution and Functions)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	サラメ 美保子
		授業形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分	後期 曜日・時間 金曜日 2限
学科・コース	医療事務専科						
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】							
看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対しての教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のために貢献してきた教員が、医療のスペシャリストとして必要な人体構造(解剖と生理学)の知識を習得できるよう授業していく。 前期9回～14回に統いて、体の機能別に全身をさらに深く学習していく。各臓器や各器官の役割や機能を理解し、疾病学で学ぶ内容と結び付けられることを期待する。							
【到達目標】 体の解剖生理学的知識を得ることにより、各臓器の主な病気の発症と結び付けることができ、医療秘書・医療事務として院内各診療科の医療用語を理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 ぜんぶわかる人体解剖図 坂井武雄 他著 成美堂出版 ※各授業毎に重要事項を記入するプリントを配布				【授業外における学習】 各授業で配布したプリント及び小テストの復習 授業中紹介する映像サイトなどで視聴覚的に復習する			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【授業単元】消化管の構造と機能 ①口腔・食道・胃 ②小腸・大腸・肛門 【授業形態】講義 【到達目標】 上下部消化管としてのそれぞれの役割・機能を理解する						
2	【授業単元】消化器系の構造と機能 ③肝臓・脾臓・胆嚢・脾臓 【授業形態】講義 【到達目標】 肝臓・脾臓・胆嚢・脾臓の腹腔内の位置関係を正確に把握し、それぞれの役割・機能を理解する						
3	【授業単元】泌尿器系及び生殖器系の構造と機能 【授業形態】講義 【到達目標】 腎臓及び生殖器の解剖生理を把握し、その機能を理解する						
4	【授業単元】感覚器系(口・耳・鼻・眼・皮膚)の構造と機能 【授業形態】講義 【到達目標】 各感覚器系の構造とその役割・機能について理解できる						
5	【授業単元】骨の構造と造血機能 及び 血液成分とその役割 【授業形態】講義 【到達目標】 骨と血液との関係を把握し、血液成分とその役割、及び主な血液検査項目とその基準値を把握する。						
6	【授業単元】免疫とリンパ系 及び 胎児期について 【授業形態】講義 【到達目標】 免疫機構、リンパ系組織の構造とその役割・機能について理解できる。胎児期の呼吸循環の特徴を理解する。						
7	【授業単元】コレステロールと脂質異常症・ビタミンと欠乏症 【授業形態】問題と解答説明 【到達目標】 普段の食生活が疾病につながる、または疾病の予防になることを理解する。			※講義内に時間の余裕がある場合は、11月の秘書検定に向けて、検定対策用問題の解答・解説を行います。			
8	【授業単元】定期試験(60点満点)・解答解説 【授業形態】筆記試験			【評価について】 評価は小テストと定期試験で行う。・小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。・小テストは教室での受講者はペーパーテスト、オンライン受講者はteams上で行う。定期試験は全員筆記試験を行う。・小テストは、第1回～6回の授業の各回最後に行う。・評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリントに必ず重要事項を記入すること。							

科目名 (英)	医療概論・医療用語 (Medical Care Theory)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員 開講区分 曜日・時間	三宮 桢名	
学科・専攻	医療事務専科	授業形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)		前期 火曜日 2時限	
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】								
大学病院の看護師として臨床経験を積んだ後、公衆衛生や医療政策に関する研究を大学で行っている。 本授業の目的は、医療事務技能検定3級合格に必要な知識・用語を習得し、医療事務として働く際に欠かせない知識や考え方を習得することである。 医療制度から病気の話まで、様々な知識を授業で扱うため、授業の内容を沢山メモしながら、理解に努めてほしい。								
【到達目標】								
医療機関の事務職員として勤務するにあたり、必要な知識や用語の意味を理解できる。 医療秘書検定3級医療知識分野において、合格点以上の点を獲得することができる。								
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】				
医療秘書医学シリーズ8 改訂「医学用語」「医療概論」建帛社				中間試験及び定期試験で合格点をとるには、日々の予習復習および定期試験前の学習が欠かせない。				
回	授業概要	回	授業概要					
1	【授業単元】 医療概論 1章「医学と医療」 2章「医療と実際」 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語を説明できる 医療事務の役割、インフォームドコンセント	9	【授業単元】 医療単語②【診療科別単語】 【授業形態】 講義 【到達目標】 循環器・消化器分野で頻出の用語について、その意味がわかる					
2	【授業単元】 2章「医療と実際」・3章「死と医療」 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語を説明できる DPC制度、QOL、安楽死	10	【授業単元】 医療単語③【診療科別単語】 【授業形態】 講義 【到達目標】 呼吸器・泌尿器・血液内科分野で頻出の用語について、その意味がわかる					
3	【授業単元】 医療単語①【診療科共通の用語】 【授業形態】 講義 【到達目標】 病棟・外来問わず使用する、英略語および医療用語の意味が わかり、正しく読むことができる	11	【授業単元】 医療単語④【診療科別単語】 【授業形態】 講義 【到達目標】 産婦人科・整形外科・アレルギー科・皮膚科分野で頻出の用語 について、その意味がわかる					
4	【授業単元】 4章「医療・医療従事者に関する法律」 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語を説明できる 病院、診療所、医療従事者の免許、管理者、経営者	12	【授業単元】 医療単語⑤【診療科別単語】 【授業形態】 講義 【到達目標】 病院の薬・検査に関する分野で頻出の用語について、その意味 がわかる					
5	【授業単元】 5章「社会保障制度」 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語を説明できる 国民皆保険制度、健康保険、レセプト	13	【授業単元】 医療概論【総復習】 【授業形態】 講義 【到達目標】 医療概論分野で扱った知識が、どう実習で役立つかを理解する ことができる					
6	【授業単元】 6章「自由診療と混合診療」・7章「現代医療の課題」 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語を説明できる 自由診療、混合診療、介護保険、後期高齢者医療制度	14	【授業単元】 医療単語【総復習】 【授業形態】 講義 【到達目標】 医療用語分野で扱った知識が、どう実習で役立つかを理解する ことができる					
7	【授業単元】 中間試験および解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 ここまで授業で扱った重要用語の意味を、選択肢の中から選ぶ ことができる 授業で扱った医療用語を、正しく読むことができる	15	【授業単元】 定期試験および解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 ここまで授業で扱った重要用語の意味を、選択肢の中から選ぶ ことができる 授業で扱った医療用語を、正しく読み書きすることができる					
8	【授業単元】 医療秘書技能検定解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 試験を解きなおし、学習に関する自分の課題を明らかにし、対 策を立てることができる	【評価方法について】 評価は筆記試験で行う。講義の中で行う中間試験40点、定期試験60点計100 点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。						
【特記事項】								
授業回数や授業内容が変更する可能性がある。								

科目名 (英)	医療法規 (Medical Relation Regulation)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	三宮 桢名
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分	前期
学科・専攻	医療事務専科					曜日・時間	火曜日
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】							
大学病院の看護師として臨床経験を積んだ後、公衆衛生や医療政策に関する研究を大学で行っている。 医療秘書技能検定3級合格を目指し、健康保険法を中心とする医療保険制度について学習する。保険診療全体のしくみや法律用語など、2Q以降の学習内容の基礎となる内容であることを意識して取り組んで欲しい。法律と業務の関係を理解し、より主体的、能動的に業務に取り組むことができるようになることを期待する。							
【到達目標】							
保険診療のしくみを通して、業務の全体像が理解できる。 健康保険法を中心とする医療保険制度の概要が理解できる。 医療秘書技能検定試験3級に合格する。(領域Iの合格基準を超える。)							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
『新 医療秘書実務シリーズ4 三訂 医療関連法規』(建帛社) 『医療秘書技能検定試験実問題集3級①』(つちや書店)				各回の配布プリント及び小テストの復習をすること 教科書の該当範囲を読んで理解を深めること			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【授業単元】保険診療のしくみ 【授業形態】講義 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none">・医療保険制度の目的を説明できる・保険診療のしくみの図を記述できる・被保険者と保険者の違いを説明できる	9	【授業単元】高額療養費 【授業形態】講義 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none">・高額療養費の対象と対象外の費用を識別できる・自己負担限度額の確認及び計算ができる・限度額適用認定証とマル長の目的を説明できる				
2	【授業単元】医療保険制度の種類と法別番号 【授業形態】講義 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none">・医療保険と健康保険の違いを説明できる・保険の種類と法別番号を関連づけることができる・協会けんぽと組合健保の違いを説明できる	10	【授業単元】療養担当規則 【授業形態】講義 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none">・療養担当規則とは何かを説明できる・保険医療機関の療養担当が理解できる				
3	【授業単元】保険料、被保険者の種類、二重指定制度 【授業形態】講義 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none">・保険料の決定方法が理解できる・被保険者の種類を区別できる・指定と登録の違いを説明できる	11	【授業単元】療養担当規則 【授業形態】講義 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none">・保険医の診療方針等が理解できる・実費徴収できる費用とできない費用の区別ができる				
4	【授業単元】患者負担、保険給付 【授業形態】講義 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none">・年齢と患者負担割合を関連づけることができる・窓口徴収額が計算できる	12	【授業単元】公費負担医療 【授業形態】講義 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none">・主な公費負担医療の種類と概要が理解できる・費用負担のパターンが理解できる・生活保護法の概要が理解できる				
5	【授業単元】保険給付(医療給付・現金給付) 【授業形態】講義 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none">・現金給付の種類と概要を関連づけることができる・現金給付と現物給付の違いを説明できる	13	【授業単元】公費負担医療・労災保険・自賠責保険 【授業形態】講義 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none">・感染症法の概要が理解できる・労災保険、自賠責保険の概要が理解できる・医療保険各法との関係が理解できる				
6	【授業単元】その他の医療保険制度 【授業形態】講義 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none">・船員保険法の概要が理解できる・国民健康保険法の概要が理解できる・後期高齢者医療確保法の概要が理解できる	14	【授業単元】法を学ぶための基礎知識、社会保障制度 【授業形態】講義 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none">・法の種類、法の構造が理解できる・法令用語、基本用語が理解できる・社会保障制度の体系が理解できる				
7	【授業単元】総復習 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none">・1Qで扱った範囲について、要点を再確認し、医療秘書技能検定試験3級(領域I)の類問で8割以上を得点できる	15	【授業単元】定期試験、解答解説 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none">本授業の内容について、8割以上の得点ができる				
8	【授業単元】混合診療の禁止と保険外併用療養費 【授業形態】講義 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none">・混合診療の禁止とは何か説明できる・保険外併用療養費と特別の料金の関係を説明できる・選定療養と評価療養を識別できる		【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。 授業で習得した専門的な知識の理解度、定着度を確認する。 筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 小テストは、第2回～第7回の各回の授業冒頭に計6回行う。 評価は学則規定に準ずる。				
【特記事項】							
毎授業でプリント及びテキストに記載するよう指示した内容を必ずメモし覚えること							

科目名 (英)	医療統計学 (Medical Statistics)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	塩原 慎之	
		授業形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 2時限	
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、統計的方法による医療情報の解析方法の基礎を習得する授業を行う。 教科書を使用しないので、毎回の授業資料をファイリングし整理しておく(小テスト、定期試験も資料持込可で実施)								
【到達目標】 1. 病院経営に関するデータの統計分析方法を習得する。 2. グラフによる統計分析方法を習得する。								
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 授業で習得した内容を復習しておくこと。				
回	授業概要	回	授業概要					
1	【授業単元】グラフの種類と特徴 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 医療機関のデータについて説明できる 2. グラフによる統計分析を説明できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
2	【授業単元】病院経営収支データ、代表値 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 病院経営収支データについて説明できる 2. 代表値(中心を表す値)によるデータ分析ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
3	【授業単元】患者データの分析 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 患者に関するデータから患者統計分析ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
4	【授業単元】診療費用データの分析 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 診療費用に関するデータの説明ができる 収益統計・収益費用統計、生産性の統計			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
5	【授業単元】グラフ作成演習 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 病床利用率の計算ができる 2. 分布図(ヒストグラム)の作成ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
6	【授業単元】グラフ作成演習 【授業形態】講義 【到達目標】 1. データ作成・分析を行い、グラフを作成する			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
7	【授業単元】会計知識 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 医事課に必要な会計知識を説明できる 変動費、固定費、損益分岐点など			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
8	【授業単元】定期試験・解答解説 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 定期試験			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。				
【特記事項】								

科目名 (英)	電子カルテ演習 (Electronic Karte Practice)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	塩原 僕之
		授業形態	演習	総時間(単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 2時限
学科・専攻	医療事務専科						
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、電子カルテ実技検定試験合格に向けての知識・技術を習得する授業を行う。							
【到達目標】 電子カルテ実技技能検定試験問題を制限時間(50分)以内に、正解率60%で入力する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『C&C電子カルテシステムⅡ／操作テキスト』(ケアアンドコミュニケーション)				【授業外における学習】 授業で習得した内容を操作テキストで復習しておくこと。			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【授業単元】検定試験対策 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 第19回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
2	【授業単元】検定試験対策 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 第20回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
3	【授業単元】検定試験対策 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 第21回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
4	【授業単元】検定試験対策 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 第22回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
5	【授業単元】検定試験対策 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 第24回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
6	【授業単元】検定試験対策 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 第25回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
7	【授業単元】検定試験対策 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 第26回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
8	【授業単元】定期試験・解答解説 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 定期試験			【評価方法について】 評価は、演習試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。演習試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	介護報酬 (Nursing Care fee)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	塙原 俊之
		授業形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 1時限
学科・専攻	医療事務専科						
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】							
専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、介護保険制度における基本的な知識を習得する授業を行う。 教科書を使用しないので、毎回の授業資料をファイリングし整理しておく(小テスト、定期試験も資料持込可で実施)							
【到達目標】							
1. 介護保険制度のしくみについての知識を習得する。 2. 介護報酬請求事務についての知識を習得し、介護レセプトを作成する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『ケアマネージャー・ケアクラークのための介護サービスコード表』(caps)				【授業外における学習】 授業で習得した内容を復習しておくこと。			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【授業単元】介護保険制度 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 介護保険制度の内容を理解する 制度の歴史、制度のしくみ、保険者と被保険者、認定			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
2	【授業単元】居宅サービスの種類 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 介護サービス(居宅サービス)の種類と内容について説明できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
3	【授業単元】居宅サービスの単位数算定 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 介護サービス(居宅サービス)の単位数算定ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
4	【授業単元】居宅サービスの単位数算定 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 介護サービス(居宅サービス)の単位数算定ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
5	【授業単元】地域密着型サービスの単位数算定 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 介護サービス(地域密着型サービス)の単位数算定ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
6	【授業単元】単位数算定演習 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 介護サービス(居宅サービス、地域密着型サービス)の算定ができるようになる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
7	【授業単元】単位数算定演習 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 介護サービス(居宅サービス、地域密着型サービス)の算定ができるようになる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
8	【授業単元】定期試験、解答解説 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 定期試験			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	医療法規・病院管理 (Medical Relation Regulation /Hospital management)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員 三宮 桢名
		授業形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	
学科・専攻	医療事務専科			曜日・時間	火曜日	後期 1時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】						
大学病院の看護師として臨床経験を積んだ後、公衆衛生や医療政策に関する研究を大学で行っている。 医療秘書技能検定2級合格を目指し、医療法・医師法をはじめとする医療従事者に関する法律について、医療概論(1Q)で学んだ知識を復習しながら、さらに理解を深めていく。病院管理では、病院の組織・運営、管理に関する内容について医療秘書実務(1Q)で学んだ知識を復習しながら、さらに理解を深めていく。知識を臨床現場でどう活用するかイメージしながら授業に臨んでほしい。						
【到達目標】						
医療概論で学習した医療法、医師法、その他医療従事者に関する法律の理解を深める。 病院の組織・運営、管理に関する知識を習得する。 医療秘書技能検定試験2級に合格する。(領域Iの合格基準を超える。)						
【使用教科書・教材・参考書】		【授業外における学習】				
『新 医療秘書実務シリーズ4 三訂 医療関連法規』(建帛社) 『新 医療秘書実務シリーズ1 三訂 医療秘書』(建帛社) 『医療秘書技能検定試験実問題集2級①』(つちや書店)		各回の配布プリント及び小テストの復習をすること 過去問題を解き、解答・解説を読んで復習すること				
回	授業概要	回	授業概要			
1	【授業単元】 医療法 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・医療法改正のポイントを第1次～第8次に分類できる ・医療機関の開設と管理が理解できる ・病院の人員配置・施設基準が理解できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 医療法、医療従事者法 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・医療計画の概要が理解できる ・各医療従事者法の概要が理解できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 病院の目的と機能 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・病院の目的と機能を説明できる ・日本の病院の特徴を列挙できる ・各部門別の役割と機能が理解できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 病院の組織・運営、管理 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・組織の基本構造、基本形態を説明できる ・組織(管理)の原則を説明できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 診療報酬に関する法規 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・出来高払い方式と包括払い方式の違いを説明できる ・診療報酬の審査制度が理解できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 医療保険制度 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・健康保険法に関する問題に解答できる ・その他の被用者保険に関する問題に解答できる ・国民健康保険に関する問題に解答できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 問題演習と解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験2級(領域I)の問題を解いて、合格基準を超える解答ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 授業で扱った知識について、8割以上の得点を取ることができる			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。 授業で習得した専門的な知識の理解度、定着度を確認する。 筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 小テストは、第2回～第7回の各回の授業最後に計6回行う。 評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】						
毎授業でプリント及びテキストに記載するよう指示した内容を必ずメモし覚えること						

科目名 (英)	レセプトコンピュータ (Medical-Affairs Computer)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	塩原 俊之
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	90時間 (6)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜日3・4限
学科・専攻	医療事務専科						
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】							
専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、医療現場における医事コンピュータの基本的な知識を習得する授業を行う。診療報酬請求事務演習授業の理解が正しい入力へとつながるので、診療報酬請求事務演習の授業資料は必ず持参する。 入力結果の正解は1つなので、解答確認の時間を大切にし、間違ったところをしっかり理解する。							
【到達目標】 医事コンピュータ操作の基礎を学び、正しい外来レセプト入力技術の習得を目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社) 『 「医科」カルテ例題集 』(ケアアンドコミュニケーション)				【授業外における学習】 授業で習得した内容を復習しておくこと。			
回	授業概要	回	授業概要				
1,2	【授業単元】 患者登録、病名情報入力 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 保険診療の仕組みを説明できる 2. 医事コンピュータソフトの起動、患者登録ができる	17,18	【授業単元】検査 【授業形態】演習 【到達目標】 ・検体検査料の入力ができる				
3,4	【授業単元】 患者登録、病名情報入力 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・傷病名入力（接頭語、接尾語）ができる	19,20	【授業単元】 検定問題演習 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題（実技・外来）を行い、試験問題を時間内に入力できる				
5,6	【授業単元】 初診、再診 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 初診・再診の入力ができる 2. 複数科受診時の初診・再診の入力ができる	21,22	【授業単元】 検査、画像診断 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 検体検査料の入力ができる 2. 生体検査、病理診断の入力ができる				
7,8	【授業単元】 投薬 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・内服薬、屯服薬、外用薬の入力ができる	23,24	【授業単元】 検定問題演習 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題（実技・外来）を行い、試験問題を時間内に入力できる				
9,10	【授業単元】 注射、医学管理等 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医学管理料、院外処方の入力ができる	25,26	【授業単元】 処置・手術・麻酔 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 処置料の入力ができる 2. 手術料の入力ができる				
11,12	【授業単元】 注射、医学管理等 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・注射の入力ができる	27,28	【授業単元】 検定問題演習 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題（実技・外来）を行い、試験問題を時間内に入力できる				
13,14	【授業単元】 画像診断 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・画像診断の入力ができる	29,30	【授業単元】 検定問題演習 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題（実技・外来）を行い、試験問題を時間内に入力できる				
15,16	【授業単元】 画像診断 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・透視診断、造影剤使用撮影、特殊撮影の入力ができる		【評価方法について】 評価は、演習試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。演習試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。				
【特記事項】							

科目名 (英)	DPC演習 (DPC Practice)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	塩原 僕之
		授業形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日 1時限
学科・専攻	医療事務専科						
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、DPC制度における基本的な知識を習得する授業を行う。 教科書を使用しないので、毎回の授業資料をファイリングし整理しておく(小テスト、定期試験も資料持込可で実施)							
【到達目標】 DPCによる包括評価制度のしくみ、算定方法を習得、DPCによる点数算定とレセプト作成ができる							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社)				【授業外における学習】 授業で習得した内容を復習しておくこと。			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【授業単元】 概要、対象病院、対象患者 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. DPC制度の要点を説明できる 2. DPC対象病院の説明ができる 3. DPC対象患者の説明ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
2	【授業単元】 DPC算定方法、主要診断群 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. DPC点数表による算定ができる 2. 「MDC」について説明できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
3	【授業単元】 入院期間別点数 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 入院期間別点数による算定ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
4	【授業単元】 請求パターン 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 包括評価部分の請求パターンを説明できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
5	【授業単元】 包括点数算定 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 診断群分類が入院途中で変更になった場合の DPC包括点数計算ができるようになる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
6	【授業単元】 レセプト作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. DPCのレセプト作成ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
7	【授業単元】 DPCソフト操作方法 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. DPCソフトによるDPCレセプト作成ができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 定期試験			【評価方法について】 評価は、演習試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。演習試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	病院文書演習 (Hospital Documents Exercises)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	塙原 僕之	
		授業形態	演習	総時間(単位)	15時間 (1)	開講区分	後期 曜日・時間 月曜日 2時限	
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】								
専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、医療機関で記載すべき文書の作成方法を習得する授業を行う。 教科書を使用しないので、毎回の授業資料をファーリングし整理しておく(小テスト、定期試験も資料持込可で実施)								
【到達目標】								
1. 医療機関で記載される各種文書の作成方法を習得する。 2. グラフによる統計分析方法を習得する。								
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 授業で習得した内容を復習しておくこと。				
回	授業概要	回	授業概要					
1	【授業単元】医師事務作業補助者の業務内容 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 医師事務作業補助者の業務内容を説明できる 2. 医療機関で作成される文書の内容を説明できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
2	【授業単元】文書作成 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 処方箋が作成できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
3	【授業単元】文書作成 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 診療情報提供書(紹介状)が作成できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
4	【授業単元】文書作成 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 診療情報提供書・返書が作成できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
5	【授業単元】文書作成 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 診断書が作成できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
6	【授業単元】文書作成 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 入院診療計画書／クリティカルパスが作成できる 2. 退院時サマリーが作成できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
7	【授業単元】文書作成 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 介護保険の「主治医意見書」が作成できる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
8	【授業単元】定期試験・解答解説 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 定期試験			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。				
【特記事項】								

科目名 (英)	臨床実技演習 (Clinical Practical Exercises)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	サラメ 美保子
			授業形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分
学科・コース	医療事務専科						火曜日 1限 又は 2限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】							
看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対しての教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のために貢献してきた教員が、医療の現場で行われている患者様へのサポートや医療行為などを体験型で授業を行う。							
※この授業は生徒同士の接触もあるため、感染症などの発生状況及び季節事象により授業内容の順番が一部変更になることがあります。							
【到達目標】							
体の一部が不自由になった場合やそれに対するサポートを体験することにより、障害とはどのような感覚なのか、それに対してどのようなサポートが必要なのか、患者様の立場に立ちその重要性を認識することができる。それにより、医療のスペシャリストとしての自覚を構築し、その意識を持って職場に臨むことができる。また、この経験を自身の生活にも活かしてほしい。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
各授業毎に重要な事項を記入するプリントを配布 この授業は生徒同士の接触もあるため、感染症などの発生状況及び季節事象により内容が一部変更になることがある。				各授業で配布したプリント内容の復習 授業内容を実習の現場で活かす			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【授業単元】 血圧について 【授業形態】 講義・体験型実習 【到達目標】 生活習慣病である高血圧について理解を深め、体への影響を知ることができる 実際に血圧を測定し、自分の血圧値を知る						
2	【授業単元】 車椅子の取扱いについて 【授業形態】 講義・体験型実習 【到達目標】 車椅子取扱い時の注意点を理解し、安全に操作することができる 乗車側と介助者側を体験し、双方の留意すべき点を見出すことができる						
3	【授業単元】 視覚障害について 【授業形態】 講義・体験型実習 【到達目標】 視覚障害とはどのような状態なのか、実際に体験して視覚障害者へのサポートの必要性を理解する						
4	【授業単元】 体位変換について 【授業形態】 講義・体験型実習 【到達目標】 体位変換の必要性を理解する 実際に体位変換を行い、実施時の注意事項を理解する						
5	【授業単元】 心臓及び消化器臓器について 【授業形態】 講義 【到達目標】 心臓の構造及び消化器系臓器の位置を再確認し、実際の臨床での検査や治療などの状況が理解できるようにする。						
6	【授業単元】 2D人体モデル(スケルトンモデル)作成 【授業形態】 講義・体験型実習 【到達目標】 1年間の総復習として、体の構造を振り返り、骨格や臓器の適切な位置を完全に理解する						
7	【授業単元】 呼吸困難について/胸郭モデルの作成 【授業形態】 講義・体験型実習 【到達目標】 呼吸が苦しいということはどういうことなのかを知る 実際に動脈血酸素飽和度を測定して、自分のSpO2を知る						
8	【授業単元】 定期試験(60点満点)・定期試験 【授業形態】 筆記試験						
【特記事項】				【評価について】			
授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリントに必ず重複事項を記入すること。				評価は筆記試験で行う。 ・小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 ・小テストは、第1・2・3・4回は体験に対してのレポートを書いて提出、第6・7回は作成物を提出する。 ・評価は学則規定に準ずる。			

科目名 (英)	事例検討 (Case Study)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	宮澤 清美	
		授業形態	演習	総時間(単位)	15時間(1)	開講区分	後期	
学科・専攻	医療事務専科					曜日・時間	火曜日	1時限
【授業の学習内容と心構え】								
都内の病院で長く医事業務を担当した経験から、現場の様々な事例をもとに皆様と一緒に解決策・対処法をディスカッションしていきたい。医療業界に飛び込む上で役立てていけるような演習を通して、学生が主体となって積極的に考察・発言していくことに期待している。 グループでの討議を交えたものも織り込んでいきたい。								
【到達目標】								
医療業界に就職しても困らない知識・思考力・行動力を身につけ、しっかりと自分の意見・考えを伝えられるようにする。								
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】				
スライドと随時資料を配布する								
回	授業概要	回	授業概要					
1	【授業単元】オリエンテーション 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 授業の進め方を理解する (ケース1)患者登録の誤り (ケース2)会計の待ち時間について			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
2	【授業単元】事例検討 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 (ケース3)患者からの質問(医学管理料) (ケース4)患者からの質問(在宅医療管理料) (ケース5)ケース3・4の他医療機関との協議			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
3	【授業単元】事例検討 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 (ケース6)院外処方箋について (ケース7)退院時処方について (ケース8)療情報提供書についてⅠ			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
4	【授業単元】事例検討 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 (ケース9)診療情報提供書についてⅡ ★中間試験(40点)			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
5	【授業単元】事例検討 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 (ケース10)患者からの苦情について 医療安全委員会について			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
6	【授業単元】事例検討 【授業形態】演習 【到達目標】 (ケース11)会計について (ケース12)入院費について (ケース13)室料差額について			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
7	【授業単元】事例検討 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 (ケース14)返戻レセプトの処理 (ケース15)再審査請求 ★全体のまとめと今後の病院事情について講義			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】				
8	【授業単元】事例検討まとめ 【授業形態】演習 【到達目標】 ★定期試験を実施			【評価方法について】 中間試験(40点満点) 定期試験(60点満点) 授業態度				
【特記事項】								

科目名 (英)	実習前教育 (Introduction to Research Workshop I)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	小泉 恒野
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分	前期 集中
学科・コース	医療事務専科	【授業の学習内容と心構え】 専門学校でクラス担任、就職指導を行ってきた教員が授業を担当。病院実習の目的を理解し、実習に必要な身構え、気構え、心構えを習得する。休まず出席し、積極的に授業に参加してほしい。					
【到達目標】 ・病院実習に向けて、実習の目的・目標を確認することで、実習へのモチベーションを上げ「よし、やるぞ！」という気持ちになる。 ・病院実習をスムーズに開始できるよう、実習に必要な準備を行う。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・実習日誌 ・配布資料				【授業外における学習】			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【授業単元】 病院実習ガイド 【授業形態】 講義 【到達目標】 病院実習に行くまでと、開始後7ヶ月間の流れをイメージできる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
2	【授業単元】 サービスマインド研修① 【授業形態】 演習 【到達目標】 「サービスマインド」を自身が体験することで、サービスに必要な点を説明できる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
3	【授業単元】 サービスマインド研修② 【授業形態】 演習 【到達目標】 「サービスマインド」を自身が体験することで、サービスに必要な点を説明できる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
4	【授業単元】 サービスマインド研修③ 【授業形態】 演習 【到達目標】 「サービスマインド」を自身が体験することで、サービスに必要な点を説明できる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
5	【授業単元】 メイクアップ講座(スーツ着用) 【授業形態】 演習 【到達目標】 《医療職=サービス業》という視点を持ち、メイクや服装を表現できる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
6	【授業単元】 医療事務専科卒業生の実習前講和 【授業形態】 演習 【到達目標】 実習での不安を軽減し、実習初日の行動がイメージできる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
7	【授業単元】 受付ロールプレイング 【授業形態】 演習 【到達目標】 病院の受付を想定したロールプレイングを通じ、初步的な受付業務・患者様対応ができる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
8	【授業単元】 実習2ヶ月後の振り返り 【授業形態】 演習 【到達目標】 実習での課題を話すことによって、不安を解消することができる。			【評価について】 評価は学則規定に準ずる 出席状況、提出物、レポートを総合的に勘案して評価する			
【特記事項】							

科目名 (英)	検定対策講座 I (Official Approval Measure Lecture I)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	塩原 傑之・三宮恵名 サラメ 美保子	
		授業形態	演習	総時間(単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 集中	
【授業の学習内容と心構え】 医療事務の実務経験を有し、社会人教育や専門学校での指導経験を有する講師が、医療秘書技能検定、医事コンピュータ技能検定合格に必要な知識を習得し合格に向けての対策授業を行う。過去問題演習を中心に、各授業で習得した知識と技術の定着及び弱点の克服を目指す。								
【到達目標】 医療秘書技能検定、医事コンピュータ技能検定3級に合格する。 医療秘書検定3級で求められる医学知識及び医療用語の漢字・英語・英略語を理解する。								
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社) ※プリントを配布(1、3回) 3級用過去問・医療用語・医療英略語				【授業外における学習】 各授業で習得した内容、配布したプリント及び小テストの復習 医療秘書検定の過去問・医療用語・医療英略語				
回	授業概要	回	授業概要					
1	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・各臓器別の機能と疾病の特徴を理解する ・医療用語の漢字を読める ・医療英略語を理解する	9	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験3級の過去問題を行い、出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる					
2	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・各臓器別の機能と疾病の特徴を理解する ・医療用語の漢字を読める ・医療英略語を理解する	10	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験3級の過去問題を行い、出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる					
3	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・各臓器別の機能と疾病の特徴を理解する ・医療用語の漢字を読める ・医療英略語を理解する	11	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題を行い、出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる					
4	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・各臓器別の機能と疾病の特徴を理解する ・医療用語の漢字を読める ・医療英略語を理解する	12	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題を行い、出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる					
5	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・苦手な問題を発見し、克服する	13	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題を行い、出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる					
6	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・苦手な問題を発見し、克服する	14	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題を行い、出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる					
7	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・苦手な問題を発見し、克服する	15	【授業単元】検定試験、解答解説 【授業形態】演習 【到達目標】 ・定期試験					
8	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・苦手な問題を発見し、克服する		【評価方法について】 評価は、授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。小テスト(40点:出席率)とレポート(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。					
【特記事項】								

科目名 (英)	検定対策講座Ⅱ (Official Approval Measure Lecture I)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	塙原 優之・三宮征名 サラメ 美保子	
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分	前期 集中	
【授業の学習内容と心構え】 医療事務の実務経験を有し、社会人教育や専門学校での指導経験を有する講師が、医療秘書技能検定、医事コンピュータ技能検定合格に必要な知識を習得し合格に向けての対策授業を行う。過去問題演習を中心に、各授業で習得した知識と技術の定着及び弱点の克服を目指す。								
【到達目標】 医療秘書技能検定、医事コンピュータ技能検定2級、電子カルテ検定に合格する。 医療秘書検定2級で求められる医学知識及び医療用語の漢字・英語・英略語を理解する。								
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社) ※プリントを配布(1、3回) 3級用過去問・医療用語・医療英略語				【授業外における学習】 各授業で習得した内容、配布したプリント及び小テストの復習 医療秘書検定の過去問・医療用語・医療英略語				
回	授業概要	回	授業概要					
1	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・各臓器別の機能と疾病の特徴を理解する ・医療用語の漢字を読める ・医療英略語を理解する	9	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験3級の過去問題を行い、出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる					
2	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・各臓器別の機能と疾病の特徴を理解する ・医療用語の漢字を読める ・医療英略語を理解する	10	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験2級の過去問題を行い、出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる					
3	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・各臓器別の機能と疾病の特徴を理解する ・医療用語の漢字を読める ・医療英略語を理解する	11	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級の過去問題を行い、出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる					
4	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・各臓器別の機能と疾病の特徴を理解する ・医療用語の漢字を読める ・医療英略語を理解する	12	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級の過去問題を行い、出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる					
5	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・苦手な問題を発見し、克服する	13	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・電子カルテ検定の過去問題を行い、出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる					
6	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・苦手な問題を発見し、克服する	14	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・電子カルテ検定の過去問題を行い、出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる					
7	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・苦手な問題を発見し、克服する	15	【授業単元】検定試験、解答解説 【授業形態】演習 【到達目標】 ・定期試験					
8	【授業単元】検定対策 【授業形態】演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・苦手な問題を発見し、克服する		【評価方法について】 評価は、授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。小テスト(40点:出席率)とレポート(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。					
【特記事項】								